

# 第71回国民体育大会「希望郷いわて国体」 冬季大会スキー競技会 フォトレポート

第71回国民体育大会「希望郷いわて国体」冬季大会スキー競技会(スキー国体)が2月20日から23日までの4日間、本市で開催されました。スキー国体の開催は、平成17年に旧安代町で開

催された「安代りんどう国体」以来11年振りで、八幡平市としては初となります。今号では、大会の様子などを写真と共に振り返ります。



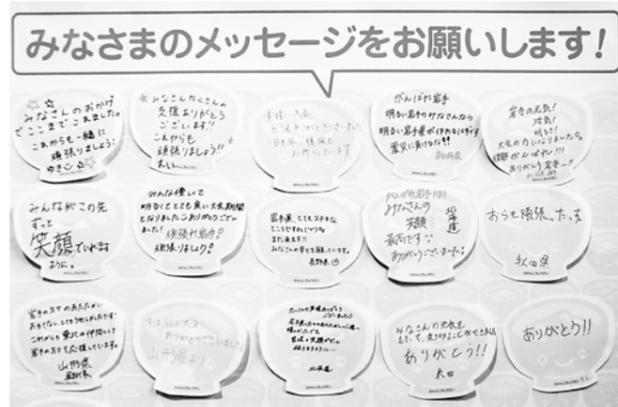
ノルディックコンパインド成年男子Bで2位の永井健弘選手(左)と3位の永井陽一選手。弟の健弘選手は「入賞もうれしいが、地元開催の国体で兄弟でレースをできたことが何よりもうれしい」と語り、目に涙を浮かべました



岩手独自の取り組みとして、2010年バンクーバー冬季パラリンピックに出場した横沢高德選手=矢巾町=がジャイアントスラローム競技のエキシビジョン滑走を行いました



大会期間中は雨や強風に見舞われながらも全種目をやり終えることができました



表彰会場には各県から復興へのメッセージが寄せられました



安代小学校、田山小学校の児童が会場に駆け付け、選手を応援しました



岩鷲護神ハチマンタイラーもそばっちと一緒に国体を盛り上げました



市内小中学校の皆さんから作成してもらったのぼり旗



- ① 松川一の宮太鼓の演奏で開始式が開幕
- ② 平舘高校生徒が大会や各県のプラカードを持ち選手団を先導
- ③ 選手団にはメッセージカード付きの安代りんどうのブーケが手渡されました
- ④ 市内小学校の6年生児童がスティックパルーンを打ち鳴らし、選手団に声援を送りました
- ⑤ 開始式には選手や関係者約2千人が出席





表彰式に出席した県選手団の皆さん。笑顔で冬季大会を締めくくりました

## 冬季大会の勢いを本大会へ

第71回国民体育大会「希望郷いわて国体」冬季大会は、スキー競技会の閉幕をもって終了しました(来年のスキー国体は群馬県白馬村で開催)。期間中、スキー競技会には、役員・選手・監督約1,800人、一般観覧者約3,700人が訪れました。また、延べ千人を超すボランティアの皆さんに大会運営を支えていただきました。

スキー競技の本県男女総合成績(天皇杯)は8位、皇后杯(女子総合成績)は13位。1月に開催されたスケート・アイスホッケー競技を合わせた冬季大会での成績は、天皇杯が4位、皇后杯は8位で本大会を迎えることとなります。

本県開催の本大会は46年振りとなります。9月4日から会期前競技の水泳が始まり、10月1日から正式競技36競技を実施。冬季大会3競技を合わせた計40競技で、天皇杯を争います。

本市では、正式競技5種目(テニス、相撲、ライフル射撃、ラグビーフットボール、ゴルフ)とデモスポのオリエンテーリングが開催されます。冬季大会の成功を本大会につなげ、市の魅力を全国に発信できるよう、市民の皆さんのより一層のご協力をよろしくお願いします。



冬季大会の男女総合得点では北海道が1位に輝きました



選手や関係者には「安代未来を拓く女性会議」の皆さんが作成した安代りんどうのしおりが贈られました



表彰式終了後、本県選手団から各県選手団へりんどうの花束が贈られました



- ①②地域の皆さんが作成した雪だるまがお出迎え
- ③おもてなしコーナーでは、ホットドリンクなどが提供され、来場者の体を温めました
- ④⑤ボランティアで参加した平舘高校の皆さん。会場の環境整備などに励みました
- ⑥⑦競技運営のために役員や自衛隊の皆さんから多くの協力をいただきました
- ⑧田山名物の「みそつけたんぼ」も大好評



## 会場の声



福島県猪苗代町 本田 由里子 さん

雪が思ったよりも多く、驚きました。田山に来たのは、11年前の安代りんどう国体以来となります。安代りんどう国体の時にも出場した息子が、今大会で最後のレースになるかもしれないということで、応援に来ました。



平舘高校2年(当時) 燭 寿和 さん

ジャンプ種目の会場に来るのは初めてです。テレビで見ていた迫力を生で感じることができました。ボランティアとして会場のごみ回収を行いました。来場者からの「ありがとう」の言葉がとても励みになりました。